

< あなたの治療について >









血内 - D(皮下)-VMP (1c) - MM - q6w









今回の治療は、D(皮下)-VMP という治療法で、ダラキューロ ( DARA ) とボルテゾミブ ( BOR ) という注射薬とアルケラン ( L-PAM ) とプレドニゾン ( PSL ) という内服薬を併用して行います。ダラキューロ、ボルテゾミブ、アルケランは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。プレドニゾンは副腎皮質ステロイドですが抗腫瘍効果があり、また、前記の薬と併用して治療を手助けする大事な役目をはたしています。4つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

◎治療全体の流れ

今回の化学療法は6週間が1コースとなっています。各コースの1、8、15、22、29、36日目にダラキューロの皮下注を行います。また、1、4、8、11、22、25、29、32日目にボルテゾミブの皮下注を行います。1日目の点滴の日から4日間に渡ってアルケランを、2～4日目にプレドニゾンを服用します。この治療を6週間 ( 42日間 ) ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎1コース分の治療スケジュール

|   | 薬剤商品名<br>(薬の作用)                                | 投与  | 1日目   | 2~3<br>日目   | 4<br>日目   | 5~7<br>日目 | 8<br>日目 | 9~10<br>日目 | 11<br>日目 | 12~14<br>日目 | 15<br>日目   | 16~21<br>日目 |     |   |     |     |     |     |     |
|---|--|-----|---|---|---|-----------|---------|------------|----------|-------------|--|-------------|-----|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① | アルケラン<br>(抗がん剤)<br>9mg/m <sup>2</sup>          | 内服  |  |   |   | お休み       | お休み     | お休み        |          |             | お休み  | お休み         |     |   |     |     |     |     |     |
| ② | プレドニゾン<br>(ステロイド)                              | 内服  | お休み   |  | お休み   |           |         |            |          |             |  |             | お休み | お休み   | お休み | お休み |     |     |     |
| ③ | レナデックス<br>レスタミン<br>アセトアミノフェン<br>(熱・アレルギーを抑える薬) | 内服  |  | お休み   |   |           | お休み     |            |          |             | お休み  |             |     |   |     |     | お休み | お休み | お休み |
| ④ | ダラキューロ<br>(抗がん剤)<br>15ml/body                  | 皮下注 |  |   |   |           |         |            |          |             |  |             |     |   |     |     |     |     |     |
| ⑤ | ボルテゾミブ<br>(抗がん剤)<br>1.3mg/m <sup>2</sup>       | 皮下注 |  | お休み   |  |           | お休み     |            |          |             |  |             | お休み |  | お休み |     |     |     |     |

|   | 薬剤商品名<br>(薬の作用)                                | 投与  | 22日目  | 23~<br>24<br>日目 | 25<br>日目  | 26~28<br>日目 | 29<br>日目   | 30~<br>31<br>日目 | 32<br>日目  | 33~35<br>日目 | 36<br>日目   | 37~42<br>日目 |     |     |   |
|---|--|-----|---|-----------------|---|-------------|--|-----------------|---|-------------|--|-------------|-----|-----|---|
| ① | アルケラン<br>(抗がん剤)<br>9mg/m <sup>2</sup>          | 内服  | お休み   | お休み             |   |             | お休み  | お休み             |   |             | お休み  | お休み         |     |     |   |
| ② | プレドニゾン<br>(ステロイド)                              | 内服  |   |                 |   |             |  |                 |   |             |  |             |     |     |   |
| ③ | レナデックス<br>レスタミン<br>アセトアミノフェン<br>(熱・アレルギーを抑える薬) | 内服  |  |                 |   |             | お休み  |                 |   |             |  |             | お休み | お休み |  |
| ④ | ダラキューロ<br>(抗がん剤)<br>15ml/body                  | 皮下注 |  |                 |   |             |  |                 |   |             |  |             |     |     |   |
| ⑤ | ボルテゾミブ<br>(抗がん剤)<br>1.3mg/m <sup>2</sup>       | 皮下注 |  | お休み             |  | お休み         |  | お休み             |  | お休み         |  |             |     |     |   |

★注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。

◎起こりやすい副作用について (頻度 20%以上)

アルケランとダラキューロとボルテゾミブによる

- 白血球減少、好中球減少、血小板減少、貧血 ●悪心 ●下痢
- インフュージョンリアクション ●末梢性感覚ニューロパチー ●注射部位紅斑

◎特徴的な副作用について

ダラキューロにおける

- インフュージョンリアクション

「アナフィラキシー、鼻閉、咳嗽、悪心、気管支痙攣、低酸素症、呼吸困難」などの症状

ボルテゾミブにおける

- 肺障害

「発熱、咳、痰、息苦しい、息切れ」などの症状

- 心障害

「息苦しい、息切れ、疲れやすい、むくみ、体重の増加、体がだるい、気を失う、呼吸が止まる、冷汗がでる、めまい、顔面蒼白(そうはく)、手足が冷たくなる、意識の消失、血圧低下」などの症状

- 末梢神経障害

「足または手のしびれ、痛みまたはヒリヒリ感、知覚過敏、感覚減退、錯覚感、不快感、灼熱感」などの症状

- イレウス

「便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐、お腹が張る、腹痛」などの症状

- 低血圧

「脱力感、めまい、ふらつき、立ちくらみ、意識の消失」などの症状

- 疲労、浮動性めまい、失神、起立性低血圧、霧視など

\* 自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事しないよう注意すること。

- 腫瘍崩壊症候群

「意識の低下、意識の消失、尿量が減る、息苦しい、息切れ」などの症状

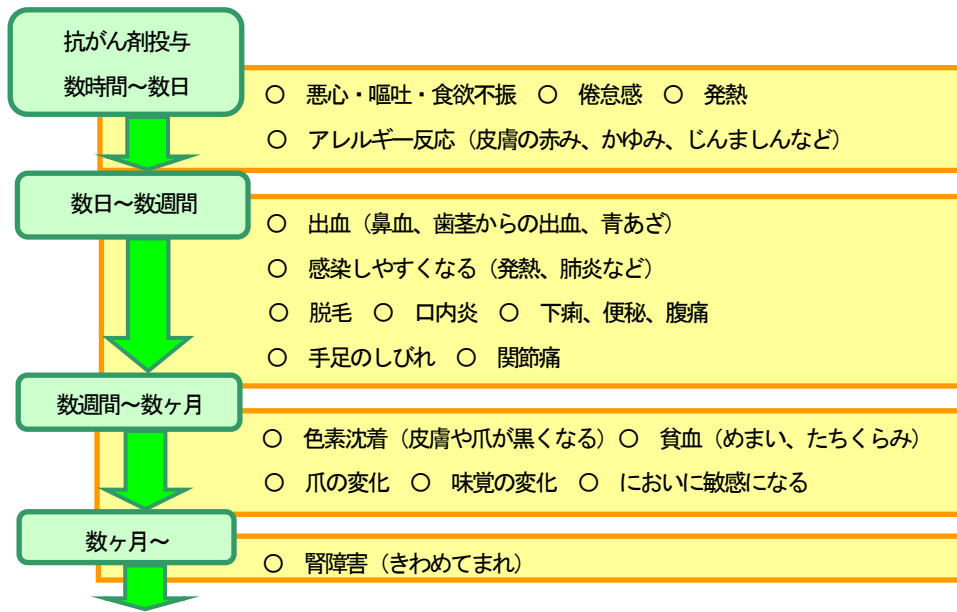
\* 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

## ◎副作用の発現時期の目安

\*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗がん剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



## ◎副作用の対策について

★吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

## ◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋） まれな副作用ですが、このような症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

### 【アルケラン】

- [骨髄抑制] 全身倦怠感、のどが痛い、鼻血
- [ショック、アナフィラキシー様症状] 顔面がまっさおになる、呼吸困難、蕁麻疹
- [重篤な肝障害、黄疸] 食欲不振、吐き気、皮膚や結膜などの黄染
- [間質性肺炎、肺線維症] 発熱、から咳、呼吸困難
- [溶血性貧血] 疲れやすい、動悸、発熱

### 【ダラキューロ】

- [インフュージョンリアクション] アナフィラキシー、鼻閉、咳、寒気、息切れ・息苦しい、吐き気、発熱、かゆみ、めまい
- [骨髄抑制] 発熱、血便・血尿、あざ、出血しやすい
- [感染症] 発熱、咳、痰、息切れ、食欲不振、全身倦怠感、吐き気、嘔吐、黄疸
- [腫瘍崩壊症候群] 尿が少なくなる・血尿、意識がうすれる、けいれん
- [間質性肺疾患] 発熱、から咳、呼吸困難、疲労

### 【ボルテゾミブ】

- [肺障害] 息切れ、胸が苦しい、咳
- [心障害] 動悸・息切れ、胸が痛い、足のむくみ
- [末梢神経障害] 足のむずむず感、思うように字が書けない、ぶつぶつした物の上を踏んでいるような感じがする
- [骨髄抑制] 発熱、出血しやすい、疲れやすい・息切れ
- [イレウス] 便秘、腹痛、腹部膨満感、食欲不振
- [腫瘍崩壊症候群] 尿が少なくなる・血尿、意識がうすれる、けいれん

◎ 上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。